

令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会 派 名	質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
つくし野	原口 政信	1 本市を取り巻く社会情勢について	(1) 市長の目指す「住みたいまち日本一」への具体的な方針と具体策は。
		2 政策①「人が育まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり」について	(1) 市内で開催されている子ども食堂をどのように評価し、今後どのような支援を考えているのか。
			(2) 全市民が利用できるこども館を設置すべきでは。
			(3) 令和6年度の待機児童及び入所保留児童の人数は。保育所が新設されるが、これらを解消できるのか。
			(4) 子育てに係る負担軽減では、近隣自治体で格差が生じている。給食・保育・医療の無償化など独自支援策は。
			(5) 小中学校体育館の空調整備は、熱中症と避難所対策として早急に取り組むべき。具体的なスケジュールは。
			(6) 大規模校・過大規模校及び特別支援学級の増加に対する今後の方針は。新設も含めた通学区域変更等の考えは。
			(7) 今後子どもの出生数は減少していくと予測されるが、公立保育所の運営方針は。
			(8) こども計画を推進していく上での課題とその解決策は。
			(9) 今後のGIGAスクール構想に向けた具体的取組は。
			(10) 令和6年度の小中学校の教員は何名不足しているのか。今後の目標は。
			(11) 教育の質向上に向けた教師の働き方改革、学校の指導・運営体制の充実に向けた方策は。
			(12) 生徒をはじめとする若者の自殺者が増加傾向にあるが、本市の状況と具体的な対策は。
		3 政策②「市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり」について	(1) 新たなスポーツ施設の建設時期はいつ頃になるのか。基本構想策定を含めた今後の具体的なスケジュールは。
			(2) 中学校部活動の地域移行に向けた課題と対策は。
			(3) 読書記録通帳機や休憩室設置など、市民図書館充実に向けた新たな取組は。
			(4) 日本遺産「西の都」が全国で初めて認定取り消しとなったが、本市への影響や今後の対策は。
		4 政策③「自然をまもり未来を育むまちづくり」について	(1) Jクレジット活用により生じる具体的な効果は。広大な面積を有する森林を活用すべきでは。
			(2) カーボンニュートラルの実現に貢献とあるが、ゼロカーボンシティの表明と捉えてよいのか。
			(3) SDGsの目標達成に向けての進捗状況は。浸透させる施策や取組の見える化が必要では。
			(4) 福岡県内で約30の自治体へ広がるワンヘルス推進宣言表明及びワンヘルス推進の計画は。
			(5) 埼玉県での陥没事故を受けて、老朽管等の調査を今一度本格的に実施すべきでは。
		5 政策④「強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり」について	(1) 物価高騰対策として、全市民を対象にお米配布等の事業を講じるべきでは。
			(2) JR二日市駅市民ホールへのエアコン設置は。シティプロモーションや観光客招致向上にも必要では。
			(3) 改正農業基本法の基本理念及び具体的内容への対応方針は。
			(4) 有害鳥獣対策は鳥獣被害防止対策協議会に依頼する毎年同じ方策だが、捕獲から食まで首尾一貫の考えは。
			(5) 企業誘致に関する具体的な取組と新たな組織体制づくり（部署新設）についての見解は。

令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会 派 名	質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
		6 政策⑤「支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり」について	(1) 令和7年度は地域包括ケアシステムの目標最終年度。総括をどのように行うのか。そして今後の方針は。
			(2) 带状疱疹ワクチン助成が実施されるが、発症者が多い50歳以上から市独自で実施できないか。
			(3) 国の基本計画を受け、市独自の認知症施策推進計画を策定すべきでは。
			(4) 地域包括支援センターの体制は地理的に厳しいという声もあるが、再構築を急ぐべきでないか。
			(5) 重層的支援体制づくりは、何を重点課題として、どのようなスケジュールで行うのか。
			(6) 高額療養費の上限が引き上げられることになっている。市民への周知と本療養費を払えない方々への支援策は。
			(7) 成年後見制度利用促進計画が定められたが、利用拡大を図るため、市民後見人の養成講座を実施すべきでは。
		7 政策⑥「安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり」について	(1) 国の防災基本計画修正を受け、本市の防災計画も避難所取組指針含めて見直すべきでは。
			(2) 特殊詐欺・闇バイト、消費者被害の防止策は。
			(3) 性犯罪・性暴力被害の発生状況は。相談支援窓口を設置すべきでは。
			(4) 防犯カメラの設置台数が少ない。通学路や不審者出没地域、個人宅まで補助金制度を拡大すべきでは。
			(5) 購入を断念されたJT跡地を活用する意向のようだが、具体的に何をしたいのか。また協議の内容は。
			(6) 運転士不足対策は喫緊の課題。AIオンデマンドバスやMaaS導入による自動運転バスの検討は。
			(7) 国道3号バイパスの針摺交差点及びトンネルに関する、安全対策の進捗状況と今後の具体的な取組は。
		8 政策⑦「政策実現のための市民目線の行財政運営」について	(1) 来庁しなくてもオンラインで書類申請や会場予約ができる「行かない窓口」設置の考えはないのか。
			(2) 農業・文化財など専門職の新規配置や増員を行うべきでは。
			(3) さらに市民サービス向上と働き方改革のため、今年度に引き続き職員増員を行うべきでは。
		9 「令和7年度の予算編成」について	(1) 過去最高額の予算編成となっているが、財源の安定性を将来的にも担保していけるのか。
			(2) 国からの地方創生交付金（第2世代交付金）の活用方針は。
			(3) 債券運用の状況は。管理は合議制の機関によりなされるべきでないか。
			(4) いわゆる年収の壁引き上げにおいて、施行時の減収額試算、市民へのサービス低下等の影響は。

令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会 派 名	質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
市民会議	白石 卓也	1 はじめに	(1) 市長は任期半ばの折り返しとなっているが、全体の施策をどのように評価されるか。
			(2) 課題はどのようなものか。
		2 人が育まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり	(1) 少子化対策について国県等と連携するとあるが本市独自の施策は必要ではないか。
			(2) 子どもたちの居場所づくりをどのように考えているのか、また相談体制が必要ではないか。
			(3) フリースクールの児童生徒への対策や考え方はどのようなものか。
			(4) 教職員の働き方は子どもへどのような影響があるのか。
			(5) 校務のDX推進でどのように負担軽減になり、子どもと向き合える時間が作れるか。
		3 市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり	(1) 市民に筑紫野市の古代文化財に関心を持っていただくため、九州国立博物館等との連携をさらに模索すべきでは。
			(2) 新たに策定するスポーツ推進計画はどのような位置付けか。
		4 自然をまもり未来を育むまちづくり	(1) 脱炭素化、カーボンニュートラルの削減目標の達成のために、断熱効果の高い家屋への支援施策 をすべきでは。
			(2) 廃棄物の減量に対して更にリサイクルへの取り組み推進が必要と考えるが見解は。
			(3) 公共施設のZEB化を推進すべき。
		5 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり	(1) 豊富な農地を活かした農業、森林を活かした施策を実施すべきでは。
			(2) 二日市温泉を中心とした観光振興をすべきでは。
			(3) 二日市温泉の施設復旧は市が主体性を持って早急に推進すべきでは。
			(4) 森林環境譲与税について有効活用の計画はたてられているか。
		6 支え合い、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり	(1) 重層的支援体制整備のために、社協、地域包括支援センター、コミ協等に対して人的、財政的支援をすべきでは。
			(2) 介護人材確保をどのように考え、事業者と利用者の意見をどのように反映させるのか。
			(3) 同和問題をどのように解決し教育と啓発を行うのか。
			(4) 生活困窮者自立支援に基づく子どもの学習支援のあり方や各課の連携について問う。
		7 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり	(1) 二次避難所の整備と合わせ、地域住民により身近な公民館での災害備蓄に対する支援が必要ではないか。
			(2) 避難所としての小中学校体育館に空調を整備すべきではないかと考えるがどうか。
			(3) JT跡地について業者と協議に入れる可能性は。またどのような協議をするのか。
			(4) 公共交通の利便性を高めるための、まちづくりとともにルート開発が必要ではないか。
			(5) コミュニティバスは、高齢者や子どもが利用をしやすくするため、小型車両を増やすべきではないか。

令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会 派 名	質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
公明党 筑紫野市議団	山本 加奈子	8 政策実現のための市民目線の行財政運営	(1) 事業のスクラップ&ビルドは、どのように行うのか。
			(2) コミュニティの人材不足が懸念されるが市の基本的考えは。
			(3) 地域コミュニティによるまちづくりを、どのように推進するのか。
			(4) ふるさと応援寄付金は基金の積立だけでなく、寄付者の共感を得られるような、成果の公表をしてはどうか。
		9 予算編成について	(1) 積極型予算の財源は、国県支出金、交付金などであるが、活用できるメニューの調査、研究をどのようにするのか。
			(2) 施策の数々を職員と一丸となって推進するため 情報の共有や、職員からの提案などは、どのように進められるのか。
	山本 加奈子	1 人が育まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくりについて	(1) 新二日市コミセン内への子どもの居場所は、こども館を求める声も多いが、子どもや保護者の意見反映は。
			(2) 保育士への就職支援金や奨学金返済支援の内容と、この施策での保育士確保数と待機児童解消の見通しは。
			(3) 「こども誰でも通園制度」の本格実施が控えているが、準備と検討とはどのようなものか。
			(4) 中学生の通院医療費無償化とあるが、こども医療費助成は18歳まで拡充できないか。
			(5) 昨年1か月児健診と5歳児健診を提案し、1か月健診の実施は決定したが、5歳児健診の今後の見通しは。
			(6) 戦後80年を迎える本年、こども達に「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」を伝承する機会はあるのか。
			(7) 小中学校体育館への空調整備の今後の見通しは。
			(8) 小中学校の大規模・中規模改修は、防災減災やZEB化等、脱炭素化を推進すべきでは。
			(9) 放課後児童クラブ(学童保育)の運営体制の強化内容と、長期休業中の季節利用など各種サービスの充実とは。
			(10) 文部科学省CBTシステム(MEXCBT)の活用状況と不登校児童生徒の学びの機会として活用しては。
		2 市民が織りなすスポーツと文化のまちづくりについて	(1) スポーツ推進計画策定時のアンケート結果を具現化するため基本構想策定に着手とあるが今後のスケジュールは。
			(2) 部活動の地域移行も見据えた指導者の確保と育成は、どのように進めていくのか。
			(3) 文化芸術活動の拠点となる文化会館の照明・音響設備の改修を進めるとあるが、バリアフリー整備も必要では。
			(4) 文化庁より、古代日本の「西の都」が認定取り消しとなったが、今後どのように取り組むのか。
		3 自然をまもり未来を育むまちづくりについて	(1) 令和7年度「ゼロカーボンシティ宣言」が出来る見通しは。
			(2) ふるさと応援寄付金を活用した地域猫など動物愛護活動への支援とは、どのように活用していくのか。
			(3) 上下水道老朽管更新に伴う耐震化で、他市では点検後にも重大事故が発生しているが、本市の見解は。

令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会 派 名	質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
		4 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくりについて	(1) 地場産業をまもり、賑わいを創出する施策とは、どのような取り組みを考えているのか。
			(2) 事業者を取り巻く社会状況の変化に合わせ、商工観光計画や中心市街地活性化計画を新たに策定すべきでは。
			(3) 中小企業の経営支援、事業継続の支援に引き続き取り組むとあるが、支援策の更なる周知徹底が必要ではないか。
		5 支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくりについて	(1) 地域での生活支援に取り組む団体の立ち上げと運営支援内容と地域密着型サービスの充実とはどのようなものか。
			(2) 高齢者の介護や福祉に資する社会資源情報を共有するシステムを導入することで、期待される効果は。
			(3) 喫緊の課題である介護人材の確保には、保育士同様、家賃補助や就職支援金、奨学金返済支援が必要では。
			(4) 带状疱疹を予防接種法B類疾病に位置付け、定期接種化が決定したが、市のワクチン接種費用の助成内容は。
			(5) 福岡県手話言語条例に基づき、市公式YouTubeチャンネルで手話講座を配信してはどうか。
			(6) 分野の垣根を超えた重層的支援体制整備事業の実施に向け、今後どのような準備や検討が必要と考えているのか。
			(7) 国は経済的に困窮している者の食品アクセスの確保としてフードバンク等の立上げ支援を準備しているが見解は。
		6 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくりについて	(1) 昨年12月に改訂された避難所の運営指針で明記されたスフィア基準の導入、TKBの迅速配備への市の見解は。
			(2) 鷺田川上流域の浸水被害は、河川やため池の浚渫、井堰の改良で解消されるのか。
			(3) 公拡法に基づく先買いが出来なかったJT跡地をどのように活かしたくて譲渡先事業者等との協議を行うのか。
			(4) 道路の安全性を確保するために必要な点検業務を、道路に関する長寿命化計画にどのように反映するのか。
			(5) A I デマンド交通の他地域への横展開に向けて、今後の見通しはどのように考えているのか。
		7 政策実現のための市民目線の行財政運営について	(1) ふるさと応援寄付金の使い道を、市民提案型で活用する仕組みが検討できないか。
			(2) 公有財産の適正管理を更に推進とあるが、ジャスコ跡地の活用はどのように考えているのか。
			(3) 地域コミュニティ運営を持続可能なものにするための方策検討とあるが、将来像をどのように考えているのか。